

全国安全週間の実施に伴う協力依頼について

厚生労働省におきましては、産業界における自主的な労働災害防止活動を推進するとともに、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図るため、毎年、全国安全週間を主唱しています。

期 間：平成25年7月1日から7月7日

準備期間：平成25年6月1日から6月30日

スローガン：「高めよう 一人ひとりの安全意識 みんなの力でゼロ災害」

全国安全週間は、昭和3年に初めて実施されて以来、「人命尊重」という崇高な基本理念の下、「産業界での自主的な労働災害防止活動を推進し、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的に、一度も中断することなく続けられ、今年で86回目を迎えます。

この間、事業場では、労使が協調して、労働災害防止対策が展開されており、この努力により、労働災害は長期的には減少してきましたが、労働災害による死傷者数は、平成22年から3年連続の増加となり、極めて憂慮すべき事態となっています。

今回のスローガンは、近年の労働災害の高まりを受けて、職場の全員が現場を確認し、機械設備の安全基準や作業手順などの基本的なルールを守ることと、一人ひとりの安全に対する意識や危険感受性を高めることによって、業務中の労働災害ゼロを目指していくことを表しています。

この全国安全週間を契機として、それぞれの職場で、労働災害防止の重要性を認識し、安全活動の着実な実行を図りゼロ災害を目指しましょう。

主 唱 厚生労働省、中央労働災害防止協会

協 賛 建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会、鉱業労働災害防止協会

第86回 全国安全週間

◆期 間：平成25年7月1日(月)～7日(日)
【準備期間：平成25年6月1日(土)～30日(日)】

(スローガン)
**高めよう 一人ひとりの安全意識
みんなの力でゼロ災害**

全国安全週間は、昭和3年に初めて実施されて以来、「人命尊重」という崇高な基本理念の下、「産業界での自主的な労働災害防止活動を推進し、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的に、一度も中断することなく続けられ、今年で86回目を迎えます。

この間、事業場では、労使が協調して、労働災害防止対策が展開されており、この努力により、労働災害は長期的には減少してきましたが、労働災害による死傷者数は、平成22年から3年連続の増加となり、極めて憂慮すべき事態となっています。

今回のスローガンは、近年の労働災害の高まりを受けて、職場の全員が現場を確認し、機械設備の安全基準や作業手順などの基本的なルールを守ることと、一人ひとりの安全に対する意識や危険感受性を高めることによって、業務中の労働災害ゼロを目指していくことを表しています。

この全国安全週間を契機として、それぞれの職場で、労働災害防止の重要性を認識し、安全活動の着実な実行を図りゼロ災害を目指しましょう。

主 唱 厚生労働省、中央労働災害防止協会
協 賛 建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会、鉱業労働災害防止協会

※裏面の「平成25年度全国安全週間実施要綱について」もご覧ください。

～自動車整備工場における労働災害事例～

自動車修理工場で高圧受電設備の開閉器に触れ感電

【発生状況】

この災害は、自動車の修理工場において被災者が高圧変電設備の機器に触れて感電したものである。

この事業所は、自動車の販売と修理を行っており、災害の発生した時期は、事業所として夏期休暇の期間であったが、顧客応対のため2～3名が交代で出勤しており、災害発生当日はサービスグループに所属する被災者と販売グループに所属する1名が出勤していた。



当り、午前8時20分頃同僚が出勤した時には、被災者がすでに出勤しており、事務室内でエアコンのスイッチを操作していて、同僚に「エアコンが動かない」と話しかけてきた。その後、同僚はショールームに行き、被災者は整備工場に向かったが、その後の被災者の行動については目撃者がいない。

午前8時25分頃、事業所全体の電気が消えたので、同僚が被災者を探しに行ったところ、事務所の北側にある高圧受電設備と事務所建物との間に仰向けに倒れている被災者を発見した。

【原 因】

この災害は、自動車の修理工場において被災者が高圧変電設備の機器に触れて感電したものであるが、その原因としては、次のようなことが考えられる。

1. 自動車の整備についての知識、経験はかなり豊富であったものの、受電設備・電気について知識のない者が開閉器のフックを操作したこと。
2. 受電設備の保管場所である机の鍵をかけないまま放置していたこと。
3. 感電危険等についての安全衛生教育を実施していないこと。

【対 策】

この災害は、自動車の修理工場において高圧変電設備の機器に触れて感電したものであるが、同種災害の防止のためには、次のような対策の徹底が必要である。

1. 高圧受電設備内の取り扱いは、電気についての基礎知識、安全作業等についての特別教育を修了した者に行わせること。
2. 充電部分あるいは充電部分に接近して作業を行わせる場合には、絶縁用防具、保護具を使用させること。
3. 受電設備については、囲い部分の損傷の状況を毎月1回以上点検するとともに、鍵の管理を十分に行うこと。
4. 水などで湿潤した場所で作業を行う者に対して安全衛生教育を実施すること。

自動車整備工場で塗料廃液の処理中に引火して工場が全焼

【発生状況】

この災害は、自動車整備工場において使用済み塗料廃液の分離中にシンナーに引火して工場が全焼したものである。

災害発生当日の朝、被災者は、まず塗装ブースにおいて乗用車2台の塗装をして、乾燥のため塗装場内の所定位置に移動させた後、バンパー塗装に使用した塗料廃液13リットルを投入していた。



塗料廃液分溜装置(タンクの中に廃液を入れ、80～190℃のオイルで加熱してシンナー等を蒸発分離させ、パイプを通じて回収する装置容量15リットル)のスイッチを入れた。

その後、持ち込まれていた別の自動車の塗装作業に取りかかり、途中で午前中の15分の休憩をとった。10時15分頃、塗装場に戻ると、分溜装置のタンク蓋のところから蒸気が噴出しこじめしており、続いて3箇所から急激に液体が放射線状に飛散した。

そのとき同時に、分溜装置から約3m離れたところに設置されて稼動中の熱風乾燥機の付近で炎が発生し、炎は熱風乾燥機から分溜装置に向かって逆流した。

炎は、さらに工場内にあった灯油、塗料棚や塗料庫の塗料等に引火して工場が全焼した。この火災により、消火作業に当たった被災者のほか、消火の応援に駆けつけた作業者2名が煙に包まれて気道障害を負った。

【原 因】

この災害の原因としては、次のようなことが考えられる。

1. タンク内で分溜されたシンナーがパイプから排出されずに蓋のところから工場内に噴出したこと。

この分溜装置は外国製のものであるが、塗装廃液用として製作されたもので、正常な稼動の場合には密閉されたタンク内で分溜されたシンナー成分等がタンク内上部に配置された回収パイプを通じて外部に排出されるが、この災害の場合にはパイプからシンナー成分等が排出されずにタンク内に滞留したため、蓋のパッキンの隙間から外部に漏れ、工場内に拡散したものと推定される。

2. 通常の処理量より多い廃液をタンク内に投入したこと。

投入した塗料廃液(イソシアネート硬化剤混入のウレタン塗料)は、メーカーが指定した量よりも約2倍であったため、蒸発量が多く、また、廃液中の化学反応を起こしてできた固形物が膨張して排出パイプと安全弁を塞いでしまったものと推定される。

3. 熱風乾燥機が防爆型のものでなかったこと。

着火源となったのは分溜装置の近くにあった熱風乾燥機と推定されるが、防爆構造ではなかった。

4. 消火作業等についての教育訓練が行われていなかったこと。

工場内で引火性ガス漏れのおそれがあったのに、異常時における装置、消火作業要領等についての教育訓練が行われていなかった。

【対 策】

同種災害の防止のためには、次のような対策の徹底が必要と考えられる。

1. 塗料廃液の処理作業に関するマニュアルを策定すること。

分溜装置による塗料廃液の処理については、メーカーの取扱い説明書を熟読するとともに、作業場の環境などを考慮した作業マニュアルを定め、関係作業者に周知徹底することが必要である。

特に、タンク内に投入する廃液の量については、塗料を使用した後の経過時間によって調節することがメーカーからも指示されているので、これらを含めて適正な量を投入するよう徹底することが重要である。

2. 防爆型の電気機械器具を使用すること。

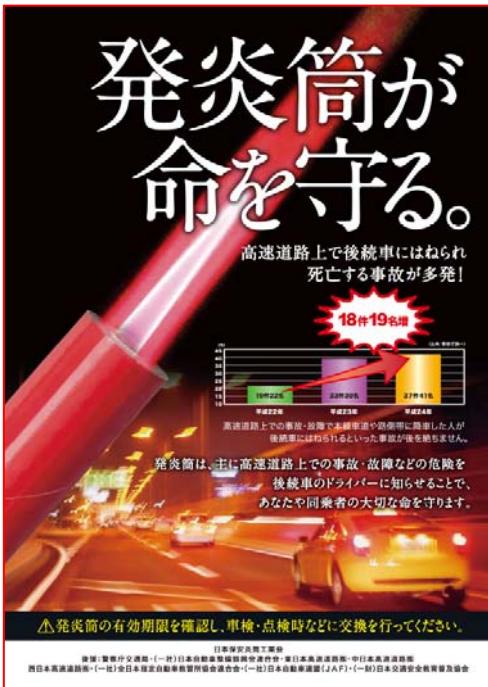
引火性のガス・蒸気の発生、滞留するおそれのある場所で使用する電気機械器具は、防爆型の構造のものを使用すること。

3. 安全衛生教育を十分に行うこと。

爆発危険のある物質を取扱う作業は爆発性混合気体が形成される。室内等で作業を行う場合には、関係作業者に対してあらかじめ爆発火災の危険性、異常時の措置要領、避難要領、消火方法について十分に教育訓練を実施しておくことが必要である。

「発煙筒の使用方法等心得チラシ」の配布について

日本保安炎筒工業会より「発煙筒の使用方法等心得チラシ」について配布の協力依頼がありました。交通安全等の非常時における発煙筒の重要性や使用方法を伝え、適切な対処や車両整備の重要性を啓発し、事故・二次災害等の減少に資することを目的としています。発煙筒の適正な使用方法等について自動車ユーザーへ情報提供して頂きますようお願いします。



おもて面



うら面

各種研修・講習会のお知らせ

1. ハイブリッド車整備講習会

ハイブリッド車の車検整備における一部定期交換部品として、「ブレーキフルード」、「インバータ冷却水」等がありますが、E C B搭載のプリウスは通常のペダリング方法だけでは、フルード交換が出来ません。また、インバーターの冷却水交換においては、冷却水通路のエア抜きが必要となります。「整備時の注意点」、「整備モード」、「ブレーキ禁止モード」、「E C B搭載ブレーキのフルード交換」、「インバーター冷却水の交換」等、これら車検整備時に必要な事柄を実習にて行います。

- ◇ 受付期間 **6月3月（月）～7月19日（水）**
- ◇ 講習日時 **8月7日（水）9：30～17：00**
- ◇ 講習会場 **（一社）山梨県自動車整備振興会 研修センター及び実習場**
- ◇ 担当講師 **ディーラートレーナー、技術講習所講師**
- ◇ 講習内容 **ハイブリッド車の整備における注意点**
（30系）整備モード、ブレーキ禁止モードへの移行方法
（20系）E C B搭載ブレーキフルード交換実習
（スキャンツールを使わずに実習）
（10系）インバーター冷却水の交換実習、補機バッテリー交換時の各システム初期化方法
- ◇ 持ち物 **筆記用具**
- ◇ 定員 **30名（定員になり次第締切とさせて頂きます）**
- ◇ 受講料 **5,000円（資料代含む）**

（申込後の未受講において、受講料の返金は出来ません。また、申込が少ない場合には、講習日を延期する場合もありますのでご了承下さい。）

2. 自動車エンジン電装講習会（STEP UP3）

自動車のエンジン故障は、日々複雑になっています。
また、外部診断機器を使用しないと故障系統すら分からずの状態です。
振興会所有の外部診断機を使って、エンジン電装理論、故障診断をしてみましょう。

- ◇ 受付期間 **6月3日（月）～8月9日（金）**
- ◇ 講習日時 **8月21日（水）9：30～16：00**
- ◇ 講習場所 **（一社）山梨県自動車整備振興会 研修センター及び実習場**
- ◇ 担当講師 **ディーラートレーナー、技術講習所講師**
- ◇ 講習内容 **自動車エンジン電装の理論と、ベンチエンジンや実車で外部診断機を使用した故障診断等の講習です。**

【注意 回路図を使って行いますが、回路図の読み方の講習は行いませんので、自動車電気基礎入門を受講済みの方、又は回路図が読める方を対象とします】

- ◇ 持ち物 **サーキットテスタ（デジタル）、筆記用具**
 - ◇ 定員 **10名（定員になり次第締切とさせて頂きます）**
 - ◇ 受講料 **5,000円（資料代含む）**
- （申込後の未受講において、受講料の返金は出来ません。また、申込が少ない場合には、講習日を延期する場合もありますのでご了承下さい。）

3. 自動車基礎電気講習会 (STEP UP 1)

自動車の電気基礎についての講習会です。

システム回路図などを読みながら電気の基礎を再確認しましょう。

- ◇ 受付期間 **5月1日（水）～6月14日（金）**
- ◇ 講習日時 6月19日（水）9：30～16：00
- ◇ 講習場所 （一社）山梨県自動車整備振興会 研修センター及び実習場
- ◇ 担当講師 技術講習所講師
- ◇ 講習内容 電位、電流、電圧、抵抗に関する理解
システム回路図、配線図の理解
- ◇ 持ち物 サーキットテスタ（デジタル）、筆記用具
- ◇ 定員 **10名（定員になり次第締切とさせて頂きます）**
- ◇ 受講料 2,000円（資料代含む）
(申込後の未受講において、受講料の返金は出来ません。また、申込が少ない場合には、講習日を延期する場合もありますのでご了承下さい。)

4. 自動車ボディ電装講習会 (STEP UP2)

自動車のボディ関係の電気回路についての講習会です。

システム回路図などを読みながら、実習車の作動確認及び故障探求をしてみましょう。

- ◇ 受付期間 **5月1日（水）～7月19日（金）**
- ◇ 講習日時 7月24日（水）9：30～16：00
- ◇ 講習場所 （一社）山梨県自動車整備振興会 研修センター及び実習場
- ◇ 担当講師 ディーラートレーナー、技術講習所講師
- ◇ 講習内容 配線図、システム回路図、儀装図の理解
実習車を用いて
・灯火関係故障探求
・パワーウィンドウ関係故障探求
・ドアミラー関係故障探求
・その他

【注意 回路図の読み方の講習は行いませんので、自動車電気基礎入門を受講済みの方、又は回路図が読める方を対象とします】

- ◇ 持ち物 サーキットテスタ（デジタル）、筆記用具
- ◇ 定員 **10名（定員になり次第締切とさせて頂きます）**
- ◇ 受講料 3,000円（資料代含む）
(申込後の未受講において、受講料の返金は出来ません。また、申込が少ない場合には、講習日を延期する場合もありますのでご了承下さい。)

5. 小型ジーゼル車整備基礎講習会

点火装置を持たないジーゼル車整備に関し、多くの事業場で点検整備されている所ではありますが、過酷に使用され走行距離が延びる車両などは、確実な点検整備がトラブル回避の大きなポイントとなります。現在ジーゼルエンジンに主流となっているコモンレールに関しても、従来の燃料システム以上の圧力で作動しているため、整備には細心の注意が必要となり、また故障診断システムもOBDを多用されるようになりました。

日頃ジーゼルエンジン整備を専門に行っている大型ディーラーに協力を依頼し、2t程の小型トラックを用いて整備基礎講習を実施いたしますので、多くの方の参加をお待ちしています。

- ◇ 受付期間 **5月1日（水）～6月28日（金）**
- ◇ 講習日時 7月10日（水） 9：30～16：00
- ◇ 講習会場 （一社）山梨県自動車整備振興会 研修センター及び実習場
- ◇ 担当講師 大型ディーラートレーナー
- ◇ 実習車両 2tクラスのトラック
- ◇ 講習内容 午前 各社基本整備内容学科講習
午後 ジーゼル車基本整備方法実習
 - ・ フューエルフィルター交換要領
 - ・ コモンレール関係整備要領
 - ・ 自己診断表示及び消去方法
 - ・ その他
- ◇ 定 員 **30名**
- ◇ 受 講 料 **5,000円（資料代含む）**
(申込後の未受講において、受講料の返金は出来ません。また、申込が少ない場合には、講習日を延期する場合もありますのでご了承下さい。)

6. スキャンツール基本研修会

スキャンツール活用事業場認定要件の一つの、応用研修の受講条件である基本研修を開催します。

- ◇ 受講条件 **三級自動車整備士以上でスキャンツール使用未経験者**
- ◇ 受付期間 **6月3日（月）～7月31日（水）**
- ◇ 講習日時 8月14日（水） 13：00～16：00
- ◇ 講習会場 （一社）山梨県自動車整備振興会 研修センター及び実習場
- ◇ 担当講師 技術講習所講師
- ◇ 講習内容 スキャンツール（日立HDM3000・デンソー DST-2、DST-i）を使い、機器の取扱い方法と実車での簡易な故障探求
(以前行いました外部診断機等取扱講習と同じ内容です)
- ◇ 持 ち 物 サーキットテスタ（デジタル）、筆記用具
- ◇ 定 員 **20名（定員になり次第締切とさせて頂きます）**
- ◇ 受 講 料 **4,000円（資料代含む）**
(申込後の未受講において、受講料の返金は出来ません。また、申込が少ない場合には、講習日を延期する場合もありますのでご了承下さい。)

7. スキャンツール応用研修会

スキャンツール活用事業場認定要件である、標記講習会を下記により開催します。

- ◇ 受付期間 **5月1日（水）～6月28日（金）**
- ◇ 講習日時 7月17日（水） 9：30～16：30
- ◇ 講習会場 （一社）山梨県自動車整備振興会 研修センター及び実習場

◇ 対象者	(1) スキャンツール基本研修（外部診断機取扱等講習）修了者 (2) H13～15年度の三年間のいずれかの整備主任者研修においてスキャンツールを使用した研修を受講した者。 (3) 振興会の行ったスキャンツール研修のうち、上記整備主任者研修の内容と同等以上（研修時間は問わない）の研修を受講した者 (4) スキャンツールメーカー、損害保険会社、電装品組合等が実施した（する）整備事業者向けの研修で、スキャンツール活用研修会実施要領で定めた研修内容、研修時間、教材、指導員が基本研修と同等以上の研修を受講した者。
	以上（1）～（4）いずれかに該当される方
◇ 講師	ディーラートレーナー、技術講習所講師
◇ 講習内容	
（学科）	1. スキャンツールの機能（再確認） 2. FAIRESからのデータ取得 3. エンジン電子制御システムの各構成要素の仕組み ・自己診断と空燃比制御
（実習）	1. スキャンツール操作方法 2. 正常時データの収集 3. 正常時と異常時のデータ比較による故障診断
◇ 定員	20人
◇ 受講料	5,000円（資料代含む） (申込後の未受講において、受講料の返金は出来ません。また、申込が少ない場合には、講習日を延期する場合もありますのでご了承下さい。)

次回 11月13日（水）

8. 圧縮天然ガス（CNG）自動車講習会

CNG自動車の燃料装置の点検整備を行うためには、一定の条件を備え運輸支局長の行なうCNG自動車に関する講習を修了した方を、点検整備責任者に選任する必要があります。既にCNG講習を修了されている方は受講する必要はありません。

◇ 受付期間	4月1日（月）～6月14日（金）
◇ 講習日時	6月24日（月）9:30～17:00
◇ 講習会場	（一社）山梨県自動車整備振興会
◇ 対象者	(1) 整備主任者 (2) 自動車検査員 (3) 整備管理者又は整備管理者に準ずる者 (4) CNG自動車改造施行責任者又はこの者に選任を予定されている者 (5) その他受講を希望する者
◇ 受講料	8,000円（テキスト代含む） 【使用テキスト】 ・CNG自動車 構造取扱基準及び解説 4,200円

各種研修・講習申込方法

申込書は、本誌巻末・教育課窓口にあります。また、振興会ホームページ（<http://www.ams.or.jp>）の「会員ページ」からもダウンロードできます。必要事項を記入の上、受講料を添えて教育課までお申し込み下さい。

スキャンツール活用事業場認定制度 「コンピュータ・システム診断認定店」

がスタートします。

ユーザーの信頼を獲得することを目的にスキャンツールを活用して、整備作業及び診断作業の効率化を図るとともに、自動車の電子制御装置の機能診断が実施できる整備事業場を認定する制度です。

認定に当たり以下の条件が必要となります。

1) スキャンツール基本並びに応用研修受講済者又は1級自動車整備士が在籍

（スキャンツール基本研修とは、スキャンツール未経験者に対する研修）

*スキャンツール基本研修免除に関して

- ・過去に振興会に於いて既に同程度若しくは、それ以上の内容の研修を修了した者は、その後のスキャンツール使用の経験も積み、十分知見を有していると判断できることから、基本研修を免除します。
- ・H13年度、14年度、15年度の三年間のいずれかの整備主任者研修においてスキャンツールを使用した研修を受講した方。
- ・振興会の行ったスキャンツール研修のうち、上記整備主任者研修の内容と同等以上（研修時間は問わない）の研修を受講した方。なお、当該スキャンツール研修はその後のスキャンツール習熟度合いを加味して、研修時間が6時間に満たないものであってもこれを認めます。
- ・以下1～12に係るスキャンツールメーカー、損害保険会社、電装品組合等が実施した（する）整備事業者向けの研修で、スキャンツール活用研修会実施要領で定めた研修内容、研修時間、教材、指導員が基本研修と同等以上の研修を受講した方。

【研修実施団体名称（研修主催者名称）】

1. (株) 損保ジャパン代理店サポート ((株)損保ジャパンまたはAIRジャパン)
2. 日本興亜損害保険 (株) (日本興亜損害保険 (株))
3. エーシー企画 (株) (三井住友海上火災保険 (株) またはアドバンスクラブ)
4. (株) あいおいニッセイ同和自動車研究所 (あいおいニッセイ同和損害保険 (株) 又は (株) あいおいニッセイ同和自動車研究所)
5. 東京海上日動オートサポートセンター (東京海上日動火災保険 (株))
6. (株) デンソーセールス「スキャンツール活用基本研修コース」
7. (株) 日立オートパーツ＆サービス「HDM・5ガステスタの活用講座」及び「診断サポートシステム活用講座」ただし、両講座を共に受講されていること。
「PitCom 基本講座」受講済者
8. ロータストラックネット

9. (株) インターサポート
10. スナップオン・ツールズ (株)
11. 安全自動車 (株)
12. (株) スマートダイアグ

上記各研修実施団体から発行される受講証明書の写しを添付して頂ければ、内容確認の上、基本研修受講済とさせていただきます。

*スキャンツール応用研修について

スキャンツールの各種機能を用いて故障探究を行う研修

本年度3回実施予定 7月17日(水)、11月13日(水)、【5月15日(水) 実施済み】

2) スキャンツール所有

①J-OBDⅡ対応、②DTC読み取り・消去、③作業サポート、④データモニタ、⑤フレームデータ、⑥アクティブテストの機能を有する物でコードリーダーは不可となります。
ただし、一部が未対応でも複数台所有し上記条件を全て満たせば結構です。

3) FAINES通常会員であること

なお、認定を受けた事業者は、点検・整備の取引に際し、顧客に対しスキャンツールによる診断結果について説明し、かつ可能な限り診断結果の印刷物を提供して頂く必要がありますので、ご理解の上申請をお願いいたします。

(認定ツールのご案内)



スキャンツール活用事業場認定看板
(サイズ: W600×H498mm)
4,550円(税込)



スキャンツール活用事業場認定のぼり
(サイズ: W600×H1,800mm)
2,000円(税込) 2枚入り
(竿については別途必要)



スキャンツール活用事業場認定卓上盾
(サイズ: W180×H240mm)
3,000円(税込)

FAINES新規入会キャンペーン

全国の振興会会員を対象として、新規にFAINESへ入会する際に、入会金の割引キャンペーンを期間限定で実施します。キャンペーンの詳細は以下の通りとなります。

(1) キャンペーン内容

入会金12,000円 → 7,000円 【5,000円割引】

※新規入会の事業者限定となります。(会員外及び再入会は対象外)

(2) 対象期間

平成25年6月1日(土)～平成26年1月31日(金)

※所属振興会での入会登録が上記期間の場合に適用となります。

お支払は、安心・便利な口座振替！

- ・サービス料金は、ご指定の金融機関の口座からの自動引き落しとなります。
- ・通常の振替月は、5月(1~3月)、8月(4~6月)、11月(7~9月)、2月(前年10~12月)の年4回の実施となります。
(振替日は振替月の6日)



1. メーカーの整備マニュアルが直接閲覧できます (旧型車については掲載されていないものもあり)
2. スキヤンツールを活用した診断ができる (正常車両からのデータ掲載 日立、デンソー)
3. 故障整備事例＆アドバイス情報を入手できる (実体験を元にした故障現象の原因と整備内容)
4. 正しく透明性のある料金計算ができる (自動車整備作業点数表)
5. サービスデータが手軽に確認できる (国産＆輸入自動車各車種の主要諸元値、点検基準値)
6. 技術情報が確認できる (新型車の解説、点検方法、整備作業上のポイント)
7. タイミング・ベルト交換要領が入手できる (エンジン型式別の交換要領)
8. 整備主任者研修用資料が閲覧できる (過去分の資料)
9. 電子燃料噴射装置故障探究マニュアル (主要車種のエンジン回路図、自己診断方法等)
10. リコール情報がいち早く入手できる (型式や届出番号から検索)
11. その他の情報 (関係官庁や関連団体、自動車メーカー等から発信された情報等)

以上が、毎月1,000円(税別)の会費ですべて見放題！

ケースその1

【相談】

内容：水漏れ修理の翌日、オーバーヒート再発

・車名：乗用車 ・登録年月：平成11年6月 ・走行距離：200,000km

先日、水漏れによるオーバーヒート修理及び交換時期が近づいていたブレーキパットの交換を行い総額5万円支払った。納車翌日に同様のオーバーヒートが発生し、整備代金が28万円の見積り提示があった。翌日に壊れるのは修理なのか納得ができない。

見積り金額が高額なため、代替えも検討しており同時に買ったブレーキパット交換の整備代金が無駄になってしまふ。整備代金を払いたくないのでどうにかならないのか相談したい。なお、整備工場からは整備代金5万円の内、部品代のみ1万8千円を負担して欲しいとのこと。

【対応】

《整備工場の確認結果》

整備工場より相談者には再発の可能性についての説明を行い納得の上で整備依頼を受けているので、作業には問題ないと思っている。なお、翌日に再発したことから、整備代金の内、部品代のみの請求に留め、お客様の負担軽減を図っており、これ以上の減額は考えていない。また、ブレーキパット交換についても、摩耗限度が近づいての作業であることから、対応として問題がないと認識している。

《相談者へ》

整備工場の考え方を伝えると共に、リスクについて事前説明をされての結果であれば、著しく問題があるとも思えません。また、ブレーキパット交換について効率性を考えての提案であればやむを得ないと思われます。なお、担当者には引き続き話合いを続けられるように話してありますので納得が出来なければ、再度話し合いを持たれるようにお願いした。

ケースその2

【相談】

内容：エアサス故障に伴い破損したフェンダーは無償修理にならないか

・車名：不明 ・登録年月：不明 ・走行距離：不明

先月買った中古車で、展示中にエアサスが故障していた。故障は納得しており、販売店の勧めで他の点検も込みで修理費用8万4千円を支払い9月18日に納車された。9月28日、通勤中エアサス故障の警告ランプが点灯したため車を止めて見たところ、左前のエアサスが故障し車体が少し下がっていた。その場で購入店に電話連絡したところ、すぐには行けない、2日間は無理だと言われた。自走できそうであり、職場が近かったのでやむをえずそのまま走行したが、途中でさらに車高が下がり、タイヤが当りフェンダーを破損した。

購入店は、エアサスの再修理は無償ですが、その他の破損は有償になると言っている。エアサスの故障によって破損したのだから無償にはならないか？

【対応】

相談者の気持ちちは理解できる。非常に気の毒ではあるが、販売店の責任は完全に直していなかったエアサスの修理であり、故障したまま走行して破損したのは分が悪い。販売店がすぐに対応できなかつたので自走したのは理解できるが、レッカーやJAFなどを呼んで対応すべきだったと思う。拡大部分の修理代については、購入（修理）直後ということで、ダメで元々程度の気持ちで価格の交渉をしてみてはどうか？と伝えた。相談者は理解し、電話を切った。

整備インフォメーション

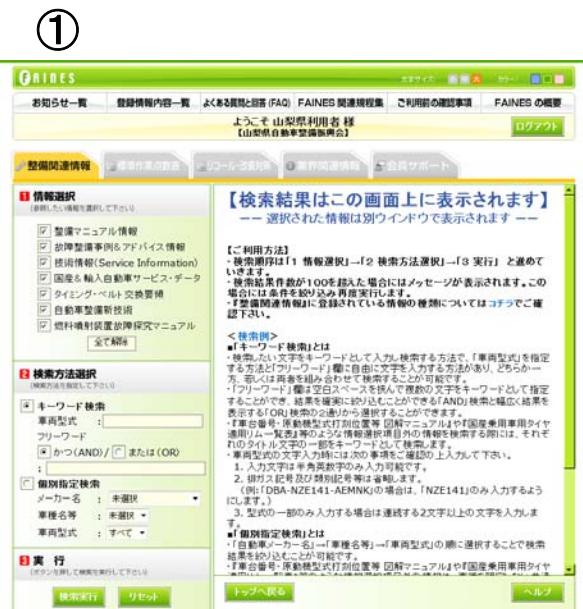
Vol. 26

横滑り量の例外的取扱車輌一覧表のご案内

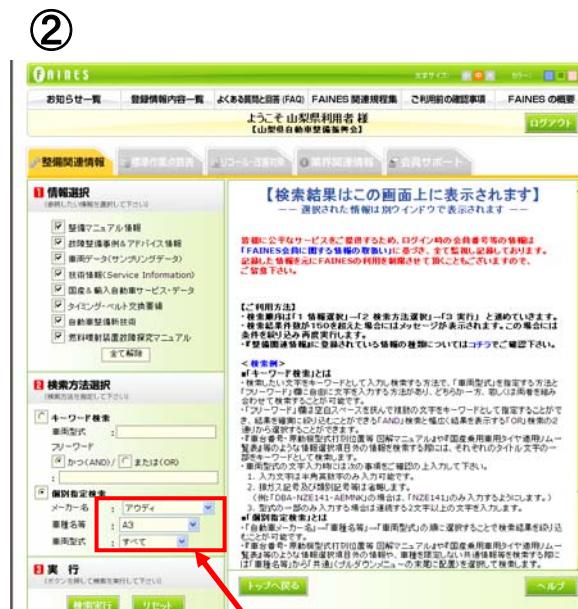
■ 対象車両 検査対象車

■ 内容

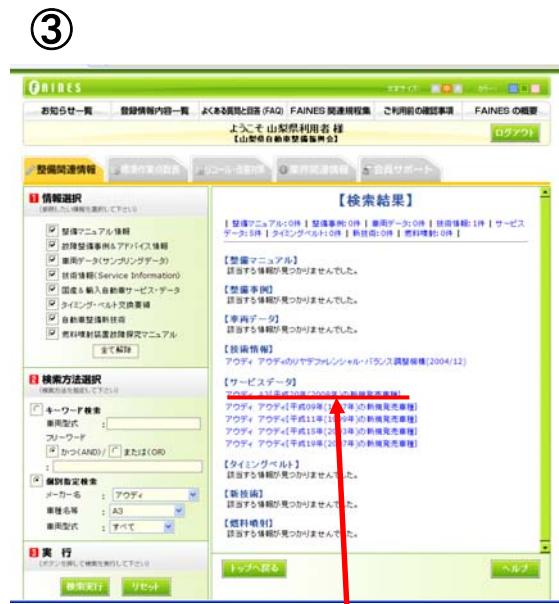
欧州車に多い「横滑り量の例外的取扱い車両一覧表」がメーカー別に、FAINESの「整備関連情報」の【サービスデータ】内に掲載されておりますのでご活用下さい。



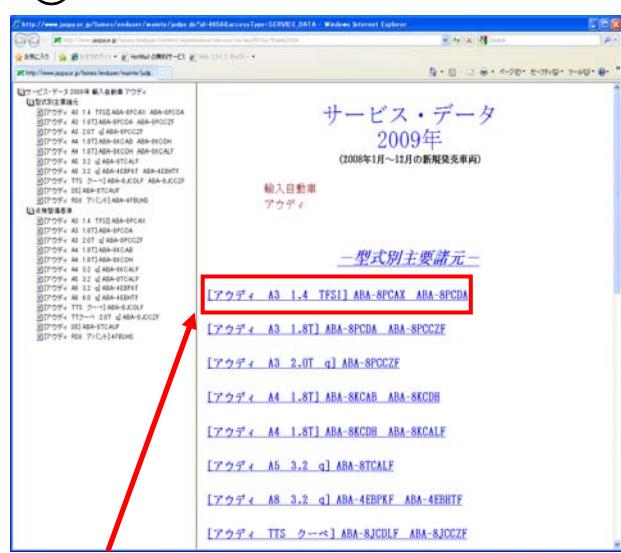
FAINESにログインします



メークー名、車種名入力後、検索実行



【サービスデータ】の対象車両名をクリック



目的の対象車両型式をクリック



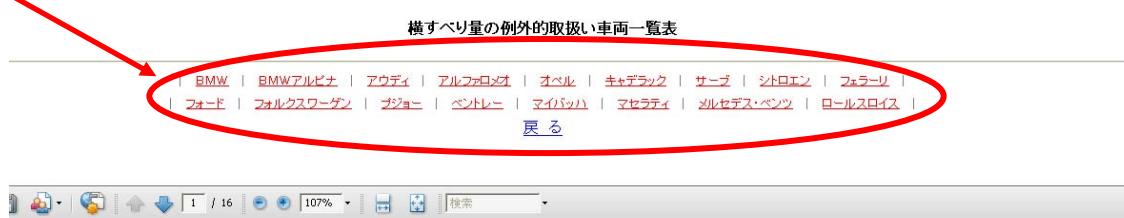
サービスデータの中の「サイドスリップ」の項目に
「**例外的取扱い車両一覧表で確認**」とあった場合は、例外対象ですので、**青い文字**をクリック



「かじ取り車輪の横すべり量の例外的取扱い要領」の中にある「横すべり量の例外的取扱車両一覧表」をクリック

⑦目的メーカーのサイドスリップ量が表示されます。

赤いメーカー名をクリックすることで、他メーカーのデータも、閲覧することができます。



横滑り量の特例扱い車両一覧表 (BMW)										
車名	型式	通称名	決算番号	年月日	キャブレー	キャスター	トイ	前輪懸架方式	横滑り量(許容値)	備考
BMW	E-GD30	730i オートマチック	自審第888号	H4.9.8	-0°15'±30'	8°15'±30'	18°±5'	マクファーソン・ストラット式	イン.5.0mm ± 5.0mm /m	
BMW	E-CB25	325i オートマチック (無番101~104及び無番005~008)	自審第932号	H4.9.16	-0°39'±30'	4°00'±30'	18°±5'	マクファーソン・ストラット式	イン.5.0mm ± 5.0mm /m	
BMW	E-HB20	520i オートマチック	自審第932号	H4.9.16	-0°13'±30'	8°10'±30'	18°±5'	マクファーソン・ストラット式	イン.5.0mm ± 5.0mm /m	
BMW	E-HD25	525i オートマチック 525i ターボ	自審第932号	H4.9.16	-0°13'±30'	8°10'±30'	18°±5'	マクファーソン・ストラット式	イン.5.0mm ± 5.0mm /m	
BMW	E-G50	750iL オートマチック	自審第932号	H4.9.16	-0°13'±30'	8°10'±30'	18°±5'	マクファーソン・ストラット式	イン.5.0mm ± 5.0mm /m	
BMW	E-G50	750i オートマチック	自審第932号	H4.9.16	-0°13'±30'	8°10'±30'	18°±5'	マクファーソン・ストラット式	イン.5.0mm ± 5.0mm /m	
BMW	E-E50	850i オートマチック	自審第932号	H4.9.16	-0°13'±30'	8°10'±30'	18°±5'	マクファーソン・ストラット式	イン.5.0mm ± 5.0mm /m	
BMW	E-GD40	740i オートマチック	自審第1174号	H4.11.2	-0°10'5"±30'	8°15'±30'	18°±5'	マクファーソン・ストラット式	イン.5.0mm ± 5.0mm /m	
BMW	E-GD40L	740iL オートマチック	自審第1174号	H4.11.2	-0°13'±30'	8°30'±30'	18°±5'	マクファーソン・ストラット式	イン.5.0mm ± 5.0mm /m	
BMW	E-HE30	530i オートマチック	自審第233号	H5.3.19	-0°13'±30'	8°10'±30'	18°±5'	マクファーソン・ストラット式	イン.5.0mm ± 5.0mm /m	
BMW	E-HE40	540i オートマチック	自審第233号	H5.3.19	-0°13'±30'	8°10'±30'	18°±5'	マクファーソン・ストラット式	イン.5.0mm ± 5.0mm /m	
BMW	E-EG50	850Ci オートマチック	自審第233号	H5.3.19	-0°13'±30'	8°16'±30'	18°±5'	マクファーソン・ストラット式	イン.5.0mm ± 5.0mm /m	
BMW	E-E40	840Ci オートマチック	自審第34号	H6.1.31	-0°13'±30'	8°16'±30'	18°±5'	マクファーソン・ストラット式	イン.5.0mm ± 5.0mm /m	
BMW	E-EF40	840Ci オートマチック	自審第34号	H6.1.31	-0°13'±30'	8°16'±30'	18°±5'	マクファーソン・ストラット式	イン.5.0mm ± 5.0mm /m	
BMW	E-HE40	540i オートマチック・ツーリング	自審第76号	H6.2.15	-0°13'±30'	8°10'±30'	18°±5'	マクファーソン・ストラット式	イン.5.0mm ± 5.0mm /m	
BMW	E-HD25	525i オートマチック 525i ターボ・バンク仕様	自審第1184号	H6.10.5	-0°30'±30'	8°26'±30'	18°±5'	マクファーソン・ストラット式	イン.5.0mm ± 5.0mm /m	

欧洲車サイドスリップの調整時にご活用下さい。